

## ■第4章 前計画の評価



## 1. 前計画の基本方針

前計画における計画の基本方針は、「第4期美幌町総合計画」の基本構想や基本目標の内容に即して設定されており、その体系は次頁に示すとおりとなっています。

## 2. 前計画の評価

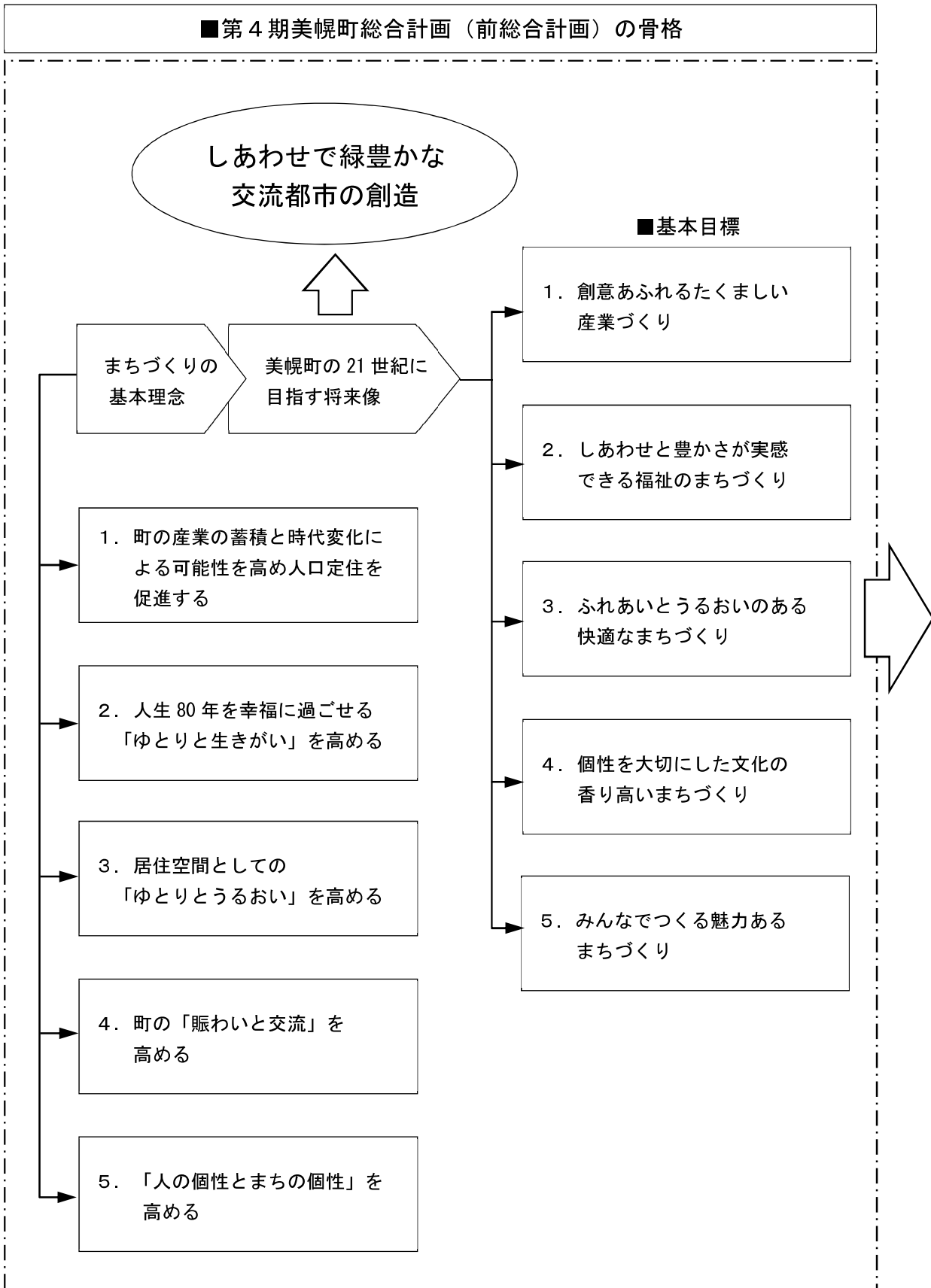
前計画の基本方針の内容に対する現時点における評価については、下記に示す評価の内容に基づき庁内関係各課の意見を踏まえてまとめております。

### ○評価の内容

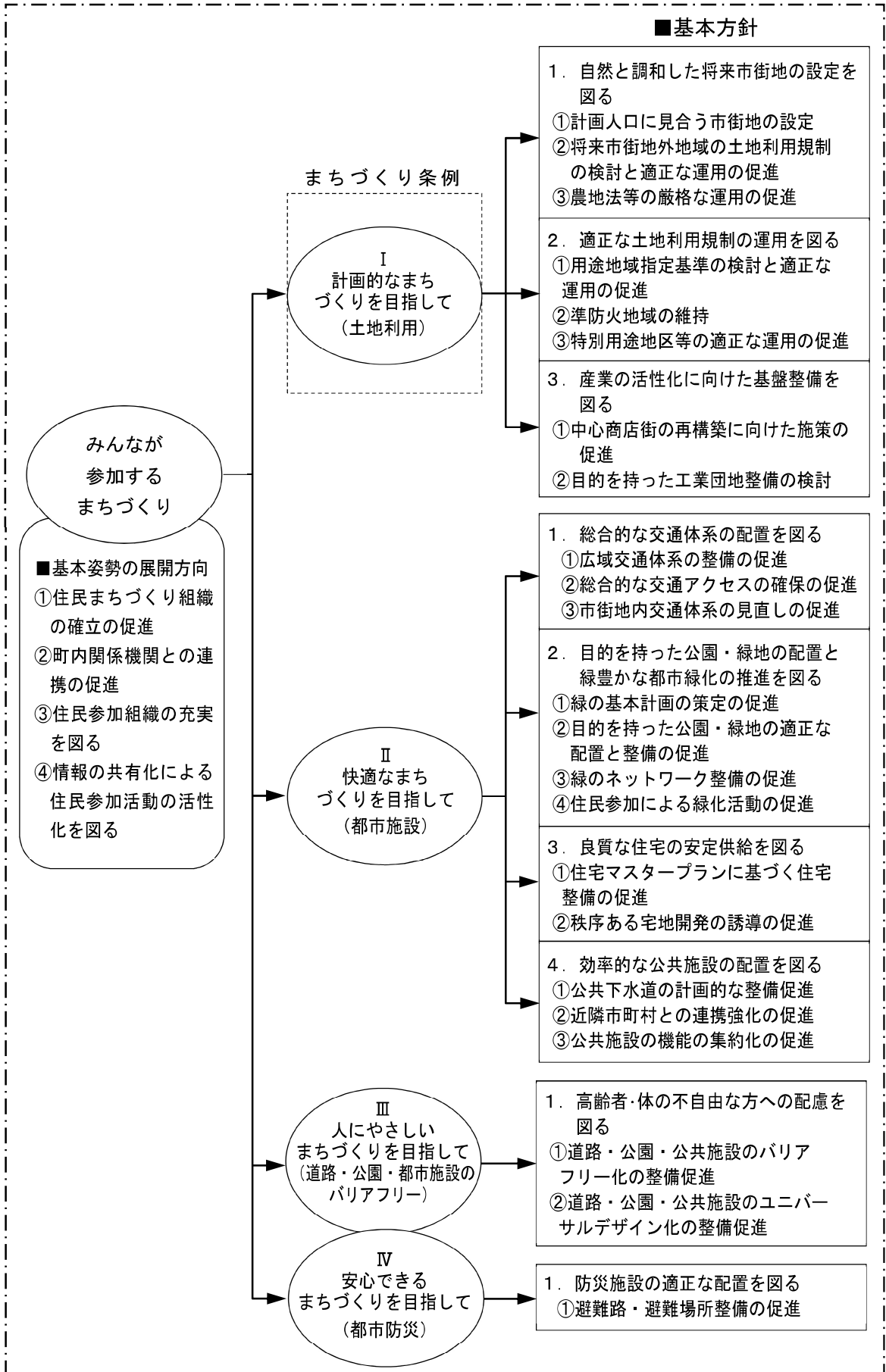
- ・実施した施策 → 前計画策定後に実施した施策等を示しています。
- ・総合計画の方向性 → 前計画の基本方針の内容が、現在の「第5期美幌町総合計画」においてどのような方向性となっているかを示しています。
- ・今後の課題 → 前計画の基本方針の内容に対する現時点での課題を示しています。
- ・見直しの視点 → これまで実施した施策、現総合計画の方向性及び今後の課題を踏まえて前計画の基本方針に対する見直しの視点を示しています。

■前計画の基本方針の体系

■第4期美幌町総合計画（前総合計画）の骨格



■前計画の基本方針



### 3. 前計画の評価のまとめ

前計画の基本方針の内容に対する現時点の評価結果のまとめに前計画策定後の我が国の社会経済情勢（法改正を含む）等を踏まえ、今後の当町の都市計画マスタープランの見直しについては、下記の事項を見直しの方向性として進めていくものとします。

#### ○都市計画マスタープランの見直しの方向性

##### ①拡散型都市構造的方針から集約型都市構造的方針への転換

都市計画法及び関連法令が近年相次いで改正された社会的背景として、拡散型都市構造から集約的都市構造への転換期を迎えていることが挙げられます。さらに当町の将来的な人口構造などを踏まえた場合、都市機能が集積・充実したコンパクトシティの実現に向けた方針に転換する必要があると思われま

##### ②現実的方針への転換

近年の厳しい社会経済情勢は、当面継続していくものと予想されることから、長期的な視野においても実現の可能性のないものについては見直し、実現性のある現実的な施策・方針に転換する必要があると思われま

また、既に都市計画決定しているものでも、見直す必要があるもの（廃止も含む）については、積極的に計画に盛り込んでいく必要があると思われま

（例 都市計画道路）

##### ③ソフト施策の充実

道路・公園等のハード的社会資本整備は、今後も予想される厳しい社会経済情勢を踏まえた場合、なかなか整備は進まないものと思われま

その一方で、今後は住民参画のあり方、地域住民・NPO・ボランティア等との連携などのソフト的施策を充実していく必要もあると思われま

##### ④計画の継続性の確保

現在の総合計画や関連計画との整合性が現時点でも図られている前計画の基本方針については、計画の継続性の確保の観点から引き続き計画に盛り込んでいく必要があると思われま